

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成25年9月5日(木) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 理事就任のお知らせ
2. 学認が信頼性のあるオンライン ID 発行機関第 1 号として山形大学を認定
3. 「災害復興学入門—巨大災害と向き合う、あなたへ—」を防災の日に発刊しました
4. 3大学合同「不思議で楽しい科学・理科体験教室」を開催します

お 知 ら せ

1. 有機エレクトロニクスイノベーションセンター開所記念式典・記念講演会について
2. 人文学部公開講座「東日本大震災からの復興」の開催
3. 理学部公開講座「ノーベル賞の科学—多様な細胞の形と働き—」の開催

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成25年9月18日(水)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成25年9月5日
山形大学

理事就任のお知らせ

- 小山 清人（再任）
（学長代理）教育、学生支援担当
- 北野 通世（再任）
総務、入試
- 深尾 彰（再任）
研究、評価、医療
- 安田 弘法（再任）
社会連携、国際交流
- 柴崎 孝（再任）
財務、施設

※ 任期：平成25年9月1日～平成26年3月31日

（お問い合わせ）
総務部広報室
（TEL）023-628-4003

役員 の 経 歴 等

法人名 国立大学法人山形大学

(平成25年9月1日現在)

役 職	氏 名	就 任 年 月 日	経 歴
理 事	こやま きよひと 小 山 清 人	平成19年9月1日	昭和49年 4月 山形大学工学部助手 昭和62年10月 山形大学工学部助教授 平成 4年 4月 山形大学工学部教授 平成 7年 3月 山形大学附属図書館工学部分館長(～平成10年12月) 平成10年11月 山形大学評議員(～平成13年8月) 平成11年 2月 山形大学大学院ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長(～平成17年3月) 平成16年 4月 山形大学工学部長(～平成19年8月) 平成19年 4月 山形大学大学院理工学研究科教授 平成19年 9月 国立大学法人山形大学理事
理 事	きたの みちよ 北 野 通 世	平成19年9月1日	昭和55年10月 弘前大学教養部講師 昭和59年 5月 弘前大学教養部助教授 昭和63年 4月 山形大学人文学部助教授 平成 6年 6月 山形大学人文学部教授 平成16年 4月 山形大学評議員(～平成18年3月) 平成19年 9月 国立大学法人山形大学理事
理 事	ふかお あきら 深 尾 彰	平成23年4月1日	昭和57年 1月 東北大学医学部助手 昭和61年 4月 日本電信電話株式会社宮城支社(～平成元年3月) 平成 元 年 4月 東北大学医学部助教授 平成 8年 6月 山形大学医学部教授 平成16年 4月 山形大学評議員(～平成20年3月) 平成23年 4月 国立大学法人山形大学理事
理 事	やすだ ひろのり 安 田 弘 法	平成23年9月1日	平成 4年 4月 山形大学農学部助手 平成10年 1月 山形大学農学部助教授 平成13年 4月 山形大学農学部教授 平成17年 4月 山形大学評議員(～平成19年9月) 平成19年10月 山形大学農学部長(～平成23年3月) 平成23年 9月 国立大学法人山形大学理事
理 事	しばさき たかし 柴 崎 孝	平成21年9月1日	昭和47年 4月 高エネルギー物理学研究所 昭和55年 5月 文部省 平成 5年 4月 大分大学 平成 7年 4月 文部省 平成13年 1月 文部科学省 平成15年 1月 高エネルギー加速器研究機構総務部長 平成16年 4月 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構総務部長 平成17年 4月 文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室長 平成19年 4月 総合研究大学院大学事務局長 平成21年 8月 文部科学省退職(役員出向) 平成21年 9月 国立大学法人山形大学理事

平成25年9月5日
山形大学

学認が信頼性のあるオンラインID発行機関第1号として山形大学を認定

8月1日（木）より、山形大学が発行するオンラインIDの信頼性が米国Open Identity Exchange(OIX)の第1保証レベルに認定されました。米国OIXの第1保証水準の認定を受け、信頼性のあるオンラインIDを発行しているのは、アジアでは山形大学のみ。認証連携基盤は、8月9日より米OIXの第1保証レベルの識別子に対応した運用を開始、教育・研究用外部サービスの信頼性の向上を目指す。

◆背景

クラウドコンピューティングの普及により学内にサーバを設置しなくても安価でかつ可用性の高いコンピュータサービスを提供できるようになってきた。オンラインIDの連携認証技術の進歩により、学内のアカウントで学外に存在するクラウドサービスを利用できるシングルサインオンも可能になってきている。クラウドサービスを介して複数の組織の人々が情報交換を行う場合、発行されたオンラインIDの信頼性が重要になるので、米OIXをはじめとする客観的な保証水準による認定が必要である。

◆概要

認定日 : 2013年8月1日
保証水準 : 第1保証レベル (Level of Assurance 1)
認定機関 : 米国Open Identity Exchange(OIX)
公開URL : <http://openidentityexchange.org/certified-providers>

国立情報学研究所(NII)では、大学等がその構成員向けに発行するオンラインIDを学外の様々なサービスにも利用するための認証連携基盤である学術認証フェデレーション「学認」を運用している。山形大学では、教育・研究環境の改善の一環として、クラウド認証連携システムを導入し、学認の運用フェデレーションに参加しております。この度、本学が外部サービスに提供するオンラインIDの信頼性を「学認 OIX LoA1認定プログラム」に審査を依頼し、第1保証レベルの認定を受けました。オンラインIDの信頼性の必要となる外部サービスもシングルサインオンで利用できるようになり、利用者の利便性が向上します。認証連携やクラウド技術は日進月歩で成長しており、最新のITシステムを開発できるIT技術者の育成が必要不可欠であります。このLoA1認定は、教育用コンピュータ環境整備の1つであり、今後も最新のIT環境整備を目指して様々な改善を進めていきます。

本学のクラウド認証連携システムの構築は、平成22年度国立大学法人設備整備費補助金事業の補助によって実施されました。

(お問合せ先)

小白川地区情報ネットワーク
センター 023-628-4209

◆参考資料

- ・ OIX の記事
<http://openidentityexchange.org/certified-providers>
- ・ NII の HP リンク先
<http://www.nii.ac.jp/news/2013/0821>
- ・ NII のプレスリリース
http://www.nii.ac.jp/userimg/press_20130820.pdf
- ・ 学術認証フェデレーション（学認：GakuNin）
<https://www.gakunin.jp/>
- ・ 学認 OIX LoA 1 認定プログラム
https://www.gakunin.jp/jo0igwggg-308/#_308
- ・ 山形大学 学術認証フェデレーション実証試験 技術資料
<https://upki.yamagata-u.ac.jp/fed/>
- ・ クラウド認証連携システム
複数 ISP と分散データベースによる高可用性認証連携サービスの構築, 伊藤智博, 高野勝美, 田島靖久, 吉田浩司, *大学情報システム環境研究*, 15, 72-79 (2012).

報道関係者様各位

平成 25 年 8 月 20 日

山形大学を信頼性のあるオンライン ID 発行機関第 1 号として学認が認定 ～米国でも通用するアジア初のオンライン ID 発行機関に～

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所
国立大学法人 山形大学

情報・システム研究機構 国立情報学研究所(所長:喜連川優、以下 NII)が推進する「学術認証フェデレーション^{*1}」(以下「学認」)では、山形大学(学長:結城章夫)からの申請に基づき、同大学が発行するオンライン ID とその ID を用いた認証の信頼性についての認定を行いました。その結果は米国 Open Identity Exchange^{**2}(以下、OIX)の確認後、Google や PayPal と並ぶ 7 番目の認定済 ID 提供機関として OIX のリストに登録されました。山形大学の同リストへの登録は、アジアにおいて初めての事例となります。

この登録により、同大学が発行するオンライン ID を用いて、米国連邦政府機関 NIH(国立衛生研究所)が提供する PubMed(日本を含む世界約 80 カ国で発行される生物医学系文献の検索サイト)等のサービスへのアクセスが可能となります。

■概要

NII では、大学等がその構成員向けに発行するオンライン ID を学外の様々なサービスに利用するための認証連携基盤として「学認」の運用を平成 21 年より開始し、また、学認に参加する大学等を対象として、平成 24 年 7 月より LoA 1 信頼性認定プログラムの提供を開始しています。この認定は、米国連邦政府 FICAM (Federal Identity, Credential and Access Management)信頼フレームワークによって規定され、4 段階の保証レベル(Level of Assurance, LoA)のうち最も基本的な第 1 保証レベル(LoA 1)にあたります。保証レベルの認定は、TFPAP (Trust Framework Provider Adoption Program)に参加する認定機関によって行われますが、学認では、TFPAP に参加する OIX の下で「学認」として評価を行う枠組みを構築しており、評価および登録にかかるコストを抑えています。

今回、学認は、活動初期からの参加校である山形大学の申請を受け、同大学の発行するオンライン ID について LoA 1 審査を初めての事例として実施し、OIX は確認後、学認による LoA 1 認定第 1 号として、OIX のリストに登録しました。LoA 1 の認定を受けることにより、米国連邦政府機関である NIH(国立衛生研究所)、NLM(国立医学図書館)、LOC(米国議会図書館)等を始めとした海外のサイトへの接続が可能になります。

FICAM をはじめとする信頼フレームワークは、オンライン ID(Web サイト等へのアクセスに利用するユーザ ID と本人確認のためのパスワード)を信頼して利用できる技術とルールを定めるものです。このような信頼フレームワークが世界的に広く共有されることにより、オンライン ID を提供する様々な組織と、ID を受け入れる様々な組織とが素早く安全に連携できる、デジタル ID のエコシステムが実現されます。また、エコシステムが実現されることで、ユーザが記憶しておくべきパスワードの数が少なくできるとともに、ID 窃盗等による社会全体のリスクを低減することが可能です。また、ID 提供側と ID 受入れ側との信頼関係の構築が容易になり、従来は実現が難しかった利便性の高いオンライン・サービスの創出と普及が期待されます。

※1. 学術認証フェデレーション(学認):

学術認証フェデレーションとは、教育や研究といった学術向けのコンテンツや情報サービスを利用する大学などと、それらを提供する機関(出版社、通信事業者、大学など)から構成された連合体です。各機関はフェデレーションが定めた規程(ポリシー)を信頼しあうことで、相互に認証連携を行うことができます。認証連携を実現することで、大学が発行する1つのID・パスワードをそのまま利用して、他大学や商用のサービスが利用できます。このとき、そのIDやパスワードがサービス提供者に知られることはありません。また、シングルサインオン技術を用いているため、複数のサービスを連続して利用する場合には、2回目以降のID・パスワードの再入力が必要ありません。例えば、他大学の無線LANをいつも大学で使用しているIDとパスワードで利用することができ、かつ自大学が契約している電子ジャーナルヘシームレスにアクセスすることも可能になります。学術認証フェデレーションには現在60以上の大学等が参加しています。詳細や利点は、次のURLをご参照ください。

<http://www.gakunin.jp/>

※2. Open Identity Exchange (OIX):

OIXは、サイバー空間上で最も重要視される“Trust(信頼)”を実現するための枠組みを提供する団体です。すでにインターネットでは、OpenIDやOAuth、SAMLといったIDに関する標準技術が普及していますが、テクノロジーだけでは「第三者が発行したIDをどうすれば信頼できるのか?」についての答えは出せません。OIXは、この課題について、ビジネス/法制度/ガバナンスなどの側面からソリューションを提供します。OIXは、Google、PayPal、AT&T、Verizon、Symantec、Booz Allen Hamiltonなどのメンバー企業から構成される民間の非営利団体です。OIXに認定されているオンラインIDの発行機関(Certified Identity Providers)については、次のURLをご参照ください。

<http://openididentityexchange.org/certified-providers>

※3. Federal Identity, Credential and Access Management (FICAM) :

米国連邦政府において2008年に設置されたFICAM小委員会は、国立標準技術研究所(NIST)等が定める電子認証ガイドラインに沿った民間の発行するオンラインIDを活用するTFPAP(Trust Framework Provider Adoption Program)を推進しており、オンラインID発行機関を認定する信頼フレームワーク認定事業者(Trust Framework Providers)を管理しています。FICAMに認定された信頼フレームワーク認定事業者については、次のURLをご参照ください。

<http://www.idmanagement.gov/approved-trust-framework-providers>

<<本件に関する問い合わせ先>>

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課 学術認証推進室 特任教授 中村素典

E-mail: motonori@nii.ac.jp

<<報道に関する問い合わせ先>>

国立情報学研究所 総務部企画課 広報チーム(担当:坂内)

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

TEL:03-4212-2164 E-mail: kouhou@nii.ac.jp

学術認証フェデレーションとは

学術認証フェデレーションとは、学術 e-リソースを利用する大学、学術 e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体のことです。
各機関はフェデレーションが定めた規程（ポリシー）を信頼しあうことで、相互に認証連携を実現することが可能となります。



フェデレーションに参加を希望される方へ



学術認証フェデレーション(学認:GakuNin)では、運用フェデレーションとテストフェデレーションの2種類のフェデレーションを提供しています。

IdPやSPの構築の際には、原則として、以下のステップに示すように、まずテスト環境で動作確認していただいた後に、運用フェデレーションに移行していただくようお願いしております。

学術認証フェデレーションに接続するIdPあるいはSPの構築には、本サイトの技術ガイドを参考にしてください。また、構築・設定に関する質問は、[情報交換メール](#)をご利用ください。NIIによる支援および先行大学からの、適切なアドバイスを受けることができます。

お知らせ

最新

[学認サービスの一時的なサービス停止について](#)

日誌 [パブリックスペース](#)

09/30 17:42

学認の以下のサービスにおいて、ネットワーク障害に起因する不具合のため、以下のとおり一時的に接続できない状態となっていたことが判明しました。万が一の影響を受けられた方にはご不便をお詫びするとともに、現在、障害は復旧しており正常に動作...

新着資料

最新

表示すべき新着情報はありません。

技術ガイド

IdP, SPの構築に関する講習会を行っております。詳しくは、[イベント](#)をご覧ください。
※この技術ガイドは、講習会のテキストも兼ねています。

IdP

- [IdPの概要](#)
- [インストール\(すでに構築済みのVMWareイメージを利用した手順\)](#)
- [インストール\(貴学にてIdPをインストールする場合の構築手順\)](#)
- [設定運用カスタマイズ](#)
- [テンプレート](#)
- [メタデータ](#)
- [IdP構築関連ファイル](#)

SP

- [SPの概要](#)
- [インストール\(貴学にてSPをインストールする場合の構築手順\)](#)
- [設定運用カスタマイズ](#)
- [テンプレート](#)
- [メタデータ](#)
- [SP構築関連ファイル](#)

情報交換メールについて

学術認証フェデレーションでは、学術認証環境の構築や利用に関する公開メーリングリストを開設しております。

[▶ 詳細はこちら](#)

▲ PageTop

国立情報学研究所 学術基盤推進部学術基盤課 総括・連携基盤チーム
TEL:03-4212-2218

TOP > お知らせ > 2012年度

お知らせ

▼ お知らせ

▶ 2012年度

▶ 2011年度

▶ 2010年度

▶ 2009年度

▶ 2008年度

▶ 2007年度

お知らせ

学認からのお知らせ(2012年度) >> 記事詳細

< 前の記事へ

2012/07/04 OIX LoA 1 認定プログラム開始のお知らせ

by:管理者

学認でIdPを運用している参加機関の方へ
OIX LoA 1 認定プログラム開始のお知らせ

( [本お知らせのPDFファイル](#))

OIX LoA 1 アセッサー 佐藤周行
oix-loa1(at)nil.ac.jp

■OIX LoA 1 について

認証フェデレーションを中心的なプレイヤーとして全世界的にトラストの構築が進んでいる中、アメリカ FICAM (Federal Identity, Credential and Access Management) のTFPAP (Trust Framework Provider Adoption Program) に参加しているOIX (Open Identity Exchange) の提供するLoA 1 の認定サービスを、学認参加機関を対象としてこの度ははじめることになりました。アメリカの連邦系のサービスを受けようとする場合、このLoA1を要求するのがベースラインになっています(例えばNIHの提供するPubMed)。また、国際的な協関係の構築の中、LoA 1 がヨーロッパでのサービスに適用されることも十分に考えられます。

■学認との関係

学認は2012年3月OIXに参加し、学認参加機関に対してOIX LoA 1を認定できるようになりました。学認の登録したアセッサーによる評価を経て、参加機関を認定LoA 1 機関としてOIXに登録することが可能になりました。

■認定の流れと認定に際して必要となるもの

認定の流れは以下のようになっています。

1. 認定を望む参加機関が申請(申請書を提出)。申請書は以下にあります。提出先はoix-loa1@nil.ac.jp にお願います。
MEMBERSHIP APPLICATION AND AGREEMENT
[Membership Agreement Final March 23 2012.pdf](#)
PARTICIPANT LISTING APPLICATION AND AGREEMENT
[oix-us-icam-loa-1-participant-listing-agreement Final March 23 2012.pdf](#)
2. OIX LoA 1 アセッサーは、参加機関の提出するデータ及び公開データ、必要ならば面接等から得られる情報その他を使って、参加機関の保証レベルを評価。
3. LoA 1 認定可と判断した時点で、OIX への申請書類をアセッサーが代理でOIX に提出。メンバーシップに関する料金をOIX に支払う必要はありません。

評価に必要なデータについてはOIX LoA 1 アセッサー(oix-loa1(at)nil.ac.jp)にお問い合わせください。認定のための評価基準は以下に示されています。

Trust Framework Provider Assessment Package

[oix-us-icam-loa1-tfp-assessment-package-November 08 2011 V2.pdf](#)

上記文書のうち、表2と3の要件を満たすことが求められます。表6が認定更新のときの要件です。認定更新は1年に1回行われます。

■認定後の権利と義務

OIXのメンバーールについては、以下をご覧ください。

OIX Member Rules

[oix-member-rules-2011-01-19-1.pdf](#)

また、<http://openidentityexchange.org/join-oix/membership-documents-01>には、関係する文書が掲載されています。あわせてご覧ください。

参加機関IdPのメンバーシップのライフサイクル(登録、更新、廃業)の管理については、OIX アセッサーが代理で行います。これに係る料金はOIX からも、学認からも徴収されません。

以上

続きを隠す<<

Browser: http://openidmtyexchange.org/certified-providers

Navigation: ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

OIX OPEN IDENTITY EXCHANGE Building Trust in Online Identity

Navigation: ABOUT NEWS EVENTS PEOPLE WHITE PAPERS PROJECTS WORKING GROUPS TRUST FRAMEWORKS JOIN OIX

OIX Certified Providers

U.S. ICAM LOA 1 Certified Identity Providers

The following OIX members are certified as identity providers for the [US ICAM trust framework](#):

Identity Provider	ICAM Profile	Listing Date	URI
Yamagata University	SAML 2.0	2013-03-01	http://yamagata-u.ac.jp/
Google	OpenID 2.0	2011-03-13	http://google.com
Equifax	IMI 1.0	2010-03-03	http://equifax.com
PayPal	OpenID 2.0	2010-03-03	http://paypal.com
PayPal	IMI 1.0	2010-03-03	http://paypal.com
VeriSign	OpenID 2.0	2010-03-29	http://pip.verisignlabs.com
Wave Systems	OpenID 2.0	2010-12-09	http://wave.com

U.S. ICAM LOA 1, 2 and non-crypto 3 Certified Identity Providers

The following OIX members are certified as identity providers for the [US ICAM trust framework](#):

Identity Provider	ICAM Profile	Listing Date	URI
Verizon	SAML 2.0	2011-10-28	http://verizonbusiness.com/us/

U.S. ICAM LOA 1 Listed Assessors

The following OIX members are listed assessors for the US ICAM LOA 1 trust framework:

Peter Alterman
Professor Hiroyuki Sato

Copyright © 2013 Open Identity Exchange. All Rights Reserved.
[Terms of Use](#) | [Privacy Policy](#) | [Contact Us](#)
[Administrative Login](#) | [Managed by Global Inventures](#)

100%



【運用開始】サイバーキャンパス「鷹山」科学技術の学術情報共有のための双方向コミュニケーションサービス【運用開始】

山形大学 学術認証フェデレーション実証試験

— ユビキタスネットワークに向けたユニバーサル認証連携基盤の構築 —



山形県

国立情報学研究所(NII)が中心になって進めている学術認証フェデレーション(学認:Gakunin)を山形大学で行うために必要な課題を明らかにし、認証連携基盤の構築を試みています。学術情報基盤センターが中心となって、NIIのUPKI-シングルサインオン(SSO)実証実験から参加し、実証試験を進めています。山形大学で検証した結果の一部を下記に示します。



UPKI

Shibboleth IdP関連技術資料

	タイトル	Version
	Shibboleth IdPでLDAP Proxy経由でADに認証する方法	2.0.0, 2.1.2, 2.1.3
	Shibboleth IdP, SPの日本語属性スキーマへの対応	2.0.0, 2.1.2, 2.1.3
	【事例紹介】山形大学における「学認」対応認証基盤整備とe-サイエンスへの取り組み (関連資料)	2.1.5
	【報告】既存の複数認証基盤を統合したUPKI用統合認証基盤の構築	2.0.0
	【報告】学術認証フェデレーションによる科学技術の学術情報共有システム	2.1.5
	UPKI-eduPersonTargetedIDの設定	2.0.0, 2.1.2, 2.1.3
	Shibboleth IdP 2.1.2へのバージョンアップの検証	2.0.0 → 2.1.2
	【Shibboleth/バグ情報】Shibboleth IdP 2.1.2: StoredID	2.1.2
	UPKI用Shibboleth IdPでGoogle Apps SSOを利用する方法	2.0.0, 2.1.2, 2.1.3
	UPKI用Shibboleth IdPでGoogle Appsをログオフ(SLO)する方法	2.4.0
	学術認証フェデレーションに対応するためのメタデータの更新作業	2.1.2, 2.1.3
	Shibboleth IdP 2.1.3へのバージョンアップ	2.1.2 → 2.1.3
	Shibboleth IdP 2.1.5へのバージョンアップ	2.1.3 → 2.1.5
	Shibboleth IdP StoredID用のテーブルの作成 (MySQL)	2.0.0, 2.1.2, 2.1.3
	Shibboleth IdPでBase64に変換する方法	2.1.3
	【注意】SAML1 ScopedStringAttributeEncoderをScriptに変更するときの注意	2.1.3
	特定のSPに属性が特定の条件を満たした時のみ属性情報を送信するIdPの設定	2.1.3
	Active DirectoryをeduPersonスキーマ対応にする方法	2.1.3
	Windows 7でのShibbolethの動作確認	2.1.3
	Shibboleth IdPでStatic Attribute+LDAP属性の組合せ	2.1.3
	Shibboleth IdPでデータベースサーバにログを転送する方法	2.1.5
	ADにLDAP接続するときに、リフェラルを無効にして属性情報を取得する方法	2.1.5
	シボレスIdP用メタデータの生成支援ツール	NII-学術認証フェデレーション対応
	IPv6の対応状況	IdP-クライアント間通信OK

Active Directory フェデレーションサービス関連資料

	タイトル	備考
	ADFSのIdPとシボレスSPの信頼データの管理	ADFSを認証プロバイダにしてShibbolethSPで認証するときの参考資料です。
	ADFS 2.0とShibboleth IDPの連携	ADFSサービスの認証プロバイダーにShibboleth IdPを利用するとき
	SharePoint - ADFS - Shibboleth IdPのSLOの試験運用	ADFSサービスの認証プロバイダーにShibboleth IdPを利用するとき
	ADFSとShibbolethの信頼情報(メタデータ)の管理方法の違い	
	ADFSとShibbolethの相互連携はできるか?	ADFS-Idp → Shibboleth-SP, Shibboleth-IdP → WIF できるかなあ? (一部問題あり、 解決策)
	ADFSのHome Realm Discoveryのカスタマイズ法(1, 2, 3)	ADFSのDSのカスタマイズの方法
	学人のメタデータを自動的に登録するには	

Shibboleth SP関連技術資料

	タイトル	Version
	【検証】シボレスEmbedded Discovery Service (Internet2)	Windows 2003, IIS, 2.4.0 (インストール記録)
	【不具合】Windowsサーバ2003でShibboleth SPを構築するとコンテンツが破壊	Windows 2003, IIS, 2.1.0
	IIS上にShibboleth SPを構築したときに属性情報の文字化けを修正する方法	Windows 2003, IIS, 2.1.0, 2.2.1
	【検証SP】シボレス認証によるサイバーコミュニティサービスの実証実験 - トップメニュー -	Windows 2003, IIS, 2.3.1, 運用フェデレーションで利用可, 説明書 科学技術の学術情報共有のための双方向コミュニケーションサービスのイメージ図
	【報告】スマートグリッド実現に向けたフェデレーションアーキテクチャによる電池劣化管理データベースの構築	Windows 2003, IIS, 2.3.1
	【検証SP】山形大学ShibbolethテストSPサイト、一部の属性が表示されません。	Windows 2003, IIS, 2.2.1, 運用フェデレーションで利用可, 簡単な説明
	【検証:サイバーキャンパス「鷹山」】シボレスによるページレビュー機能	Windows 2003, IIS, 2.3.1, 運用フェデレーションで利用可, 簡単な利用方法 RSS対応
	【検証:サイバーキャンパス「鷹山」】シボレスによる山形大蔵書レビュー機能	Windows 2003, IIS, 2.3.1, 運用フェデレーションで利用可, 簡単な利用方法 RSS対応
	Shibboleth SP 2.3へのバージョンアップ	Windows 2003, IIS, 2.3
	Shibboleth SP 2.3.1へのバージョンアップ	Windows 2003, IIS, 2.3.1
	シボレスSPのattribute-policyのルール解説	Windows 2003, IIS, 2.3.1
	Gakunin-mAPの設定でエラーが発生	Windows 2003, IIS, 2.4.3
	シボレスSP用メタデータの生成支援ツール	NII-学術認証フェデレーション対応

連携サービスプロバイダー／共通資料

	タイトル	備考
	eduPerson属性／オブジェクトクラス情報	オブジェクト識別子の情報です。
	ScienceDirect(Elsevier電子ジャーナル)	利用案内、実証試験中
	SpringerLink	利用案内、実証試験中
	ISI Web Knowledge	利用案内、実証試験中
	【質問】電子ジャーナルの終了の方法	電子ジャーナル

関連プロジェクト: [大学間無線LANローミングサーバ証明書](#)

関連講義資料: [ホームページの作成と公開データベースによる情報戦略データベースプログラムセキュリティと認証暗号化とセキュリティ](#)

関連キーワード: [ShibbolethSAMLシングルサインオンIdPSPIISユビキタス](#)

[山形大学 学術情報基盤センター](#)

平成25年9月5日
山形大学

「災害復興学入門－巨大災害と向き合う、あなたへ－」 を防災の日に発刊しました

南東北三国立大学(山形大学、宮城教育大学、福島大学)が、東日本大震災後の東北の復旧・復興を支援し、新しい東北を創り上げていくために、人的交流と教育の連携を深めてきた、その成果の一つとして、『災害復興学』テキストを防災の日(9月1日)に発刊しました。

■ 背景

南東北三国立大学長は、平成23年12月15日に『大災害に際して地方国立大学がなすべきこと』を決意表明しました。

この決意表明以降、南東北三国立大学は、東北の復旧・復興を支援し、新しい東北を創り上げていくために、人的交流と教育の連携を深めてきました。

この度、その成果の一つとして『災害復興学』テキストを発刊しました。

■ テキスト概要

(1) タイトル・・・『災害復興学入門－巨大災害と向き合う、あなたへ－』

(2) 内容

東北地方の大学に籍を置く研究者が、学生のみなさんに語りかけるテキスト。東北出身の学生であれば、あの大地震や原発災害の体験を身をもって共有している関係にあり、まさに自分自身のテーマとして、「復興」の学習を深めてほしい、それ以外の学生も、想像力を働かせながら読んでほしいと考えて作られています。

(3) 価格・・・多くの学生に読んでもらえるように、800円(税抜)と設定。

(お問合せ先)

山形大学 渉外部 渉外課 大学連携担当

Tel: 023-628-4842

Fax: 023-628-4820

E-mail: dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

大災害に際して地方国立大学がなすべきこと

南東北三国立大学長決意表明

平成 23 年 12 月 15 日

宮城教育大学長 高橋 孝助
山形大学長 結城 章夫
福島大学長 入戸野 修

大地震と大津波、さらに追い打ちをかけるように襲った原発事故——東北地方は人類が全く経験したことのない多重災害に遭遇した。死亡・行方不明あわせて約 2 万人の犠牲に加え、家屋・家財を失ったり職を失ったりした人々が膨大な数に上っている。

今日、この未曾有の災害が地域の人々、とりわけ子どもや若者たちにもたらしている被害は深刻なものがある。あるいは孤児となり、あるいは親が失業し、心に傷を負い、母校を失い、避難を余儀なくされるなど、さまざまな苦難を強いられている青少年たちが数多く生まれている。

進学を望みながらあきらめざるを得ない若者たちも少なくないと思われる。8 月に行われた大手予備校の模擬試験の際に、一部を除く東北の国公立大学への志願予定者が減少する兆候が露わになった。被災県内の進学者の絶対的な減少のみならず、県外から東北の大学への進学者の減少、あるいは進学を機に他県に流出するケースも増えるものと予想される。原発事故による放射能災害に見舞われている福島大学において、特にその傾向は顕著に表れている。

今回の大災害は、個々の大学の利害を超えた大きな問題と課題を、この地の高等教育機関に投げかけているものと言わねばならない。東北の大学は、今なにをなすべきか。南東北の三国立大学の立場で決意する。

(1) 被災した子どもや若者たちが夢や希望を失うことのないよう、検定料・入学料・授業料の減免など、大学はできる限り進学や勉学の機会を提供しなければならない。また国に対しこれまで以上に財政支援の要請を行う。

(2) 今こそ、教育・研究・社会貢献を柱とした地方国立大学の真価が問われるときであり、地域の高等教育機関としての役割を果たすべく、被災地復興や被災者支援において、独自の組織を立ち上げ、最大限の力を注ぐべきである。

(3) 地域の復興は長丁場になる。たくさんの学生が被災地・被災者支援のボランティア活動に従事しているが、学生がボランティア活動を行いやすい環境を整備することが重要である。またそのことを含め、長期にわたる復興事業の一翼を高等教育機関が担うべく、「災害復興学」*という新しい分野を切り開くことにチャレンジする。

(4) 県や市町村あるいは地域諸団体が今、復興のためにさまざまな事業を展開し、全国からも支援の手が差し伸べられている。われわれ南東北三大学は、知的資源を集積する高等教育機関の立場から、諸機関・諸団体と協力しつつ、復興に向けて最大限の貢献をしなければならない。

災害からの復興は、住宅や産業の復興ばかりでなく「人間の復興」でなければならない。そのために高等教育機関の果たすべき役割は小さくない。私ども南東北国立三大学は、高校をはじめとする学校、行政、あるいは保護者や地域住民との連携を深めながら、与えられた使命を遂げるべく、努力していくことを決意するものである。

東北発

災害復興

災害復興学テキスト

子入門

巨大災害と向き合う、あなたへ



編著 ● 清水修二・松岡尚敏・下平裕之

山形大学出版会

目次

はじめに 4

序論 「復興」のあり方を問う

序論 人間の復興 ●下平裕之（山形大学） 8

第Ⅰ部 災害に備える

第1章 災害に強いコミュニティづくり

●北川忠明（山形大学） 30

第2章 住民と行政による災害対応

●横井 博（山形大学） 47

奥尻島視察レポート ●田端健人（宮城教育大学） ... 70

第Ⅱ部 災害に耐える

第3章 被災地における被災者支援

●丹波史紀（福島大学） 76

第4章 災害と心の支援 ●佐藤 静（宮城教育大学） ... 100

第Ⅲ部 原子力災害と向き合う

第5章 原子力災害からの復興

●清水修二（福島大学） 120

第6章 原子力災害の「見えない被害」と支援活動

●西崎伸子（福島大学） 144

第7章 原子力発電所と活断層

●中村洋介（福島大学） 167

三宅島の全島避難そして帰島の経験

●清水修二（福島大学） 185

第Ⅳ部 災害を学ぶ

第8章 災害と学校 ●田端健人（宮城教育大学） ... 190

第9章 シティズンシップ教育としての災害復興教育

●松岡尚敏（宮城教育大学） ... 211

震災概要・年表 232

索引 236

執筆者一覧 239

はじめに

インドネシアのスマトラ島沖で2004年12月26日、マグニチュード9.1の巨大地震が起き、津波の襲来で22万6,556人も住民が亡くなりました。津波が町の中にまで押し寄せたそのときの貴重な映像は、たいへん衝撃的なものでした。そして2011年3月11日、東日本を襲ったマグニチュード9.0の地震のあとも、間もなく大津波が押し寄せました。そのときの情景は実に多くの映像記録に残っています。カメラを構えて撮影しているうちに逃げおかれて命を落とした人も多かったことでしょう。3月12日には、福島原発の原子炉建屋が水素爆発するというとんでもない光景を私たちは見るようになります。14日に2度目の爆発があり、私たちはTV画面でほとんどリアルタイムでそれを見ていました。

大災害がリアルな映像記録に残る時代です。2013年2月15日にロシアのチェリャビンスク州に隕石が落下しましたが、これさえ複数の映像がそれをとらえています。実に驚くべき「記録の時代」です。

しかしながらそれらの記録映像、あるいは死者の数などは、災害の本当の姿を表していると言えるでしょうか。大災害は被災者の命を奪うだけではありません。被災者の人生が、そのときを境に大きく変わってしまいます。被災し避難した人々は長い苦難を強いられることとなります。とりわけ今回は、地震と津波に加えて原子力災害という未曾有の事態が生じたため、長期にわたって地域が放射能汚染にさらされ、ふるさとに戻ることもできない人が大量に生まれています。

「防災」という言葉は、火災など人為的に生じうる災害を未然に防止する、あるいは自然災害がおこる等の緊急時に、迅速・的確に対処できるよう備えることを、普通は指します。これに対し「災害復興」という言葉は、不幸にして災害が生じてしまった場合に、そこからどのように立ち直るかを長期的な観点で考えるという意味合いがあります。自然災害は人の力で回避できるものではないので、起こったこと自体はどうしようもありません。問題は、

その後の対処次第で、被害は大きくもなり小さくもなるという点です。

東日本大震災と原発事故は、1923年9月1日の関東大震災がそうであったように、日本の歴史を左右するような大きな出来事であろうと思われます。というより、そのような大きな出来事として歴史に刻まれるべきものでなければならぬと思います。また1995年1月17日の阪神・淡路大震災にあつては、非常に多くのボランティアが救援にあたって注目されるとともに、その後の「復興」過程をめぐって多くの問題指摘がなされた点でも特徴的でした。今度の東北の大災害においては、そうした過去の経験と教訓を十分に生かした復興の道がとられなければなりません。いずれにせよ、大災害は現在(2013年夏)も進行中です。まるで災害がもう終わったかのように、過去の出来事として語ることはできません。「いまここにある危機」にどう対処するかが問われています。

大災害に対処し、被災者の生活再建や被災地の復興をすすめるためには、被災住民が主人公となりつつ、国や地方自治体の計画的な事業、あるいは広く国民各層の支援がなければなりません。さまざまな法整備も必要になります。しかしお互いの信頼関係を築きながら有効に機能するしくみを作っていくのは、なかなか簡単なことではないのです。ボランティア活動ひとつとっても、善意や同情だけでうまく進むものではありません。

この本は、東北地方の大学に籍を置く研究者が、学生のみなさんに語りかけるテキストです。東北出身の学生諸君であれば、あの大地震や原発災害の体験を身をもって共有している関係にあるわけです。まさに自分自身のテーマとして、「復興」の学習を深めていってください。また東北以外の出身の学生諸君も、想像力を働かせながら読んでいただきたいと思います。日本は世界でも有数の災害頻発国です。みなさんが生きていく間に、この国のどこかで、必ず二度や三度の大災害はあります。現に、きわめて高い確率で「東南海地震」が起こるだろうと言われています。

本書は5章構成になっています。序章は災害復興学の総論で、災害復興の理念について論じています。第1章では、文字通りの防災(災害への備え)を論じました。第2章は災害が起こった後の、被災者支援のあり方を論じています。第3章では原子力災害をとり上げ、なかなか見えにくい被災の実態

にも迫ります。第IV章のテーマは教育で、災害復興教育とはどんなものか、試論を提示しました。

山形大学、福島大学、宮城教育大学の三国立大学は、今度の災害のあと、教育の活性化を図るために交流と連携を深めてきました。この本は南東北三大学連携の成果の1つです。東北のいろんな高等教育機関で、名称はさまざまですが「災害復興」をテーマとした講義などが行われています。本書が初学者向けのテキストとして広く活用されることを願っています。

編集・出版にあたっては山形大学が中心的な役割を担い、財政面でも柱になりました。また一般社団法人国立大学協会からも財政支援をいただきました。記して感謝の意を表します。

編集者を代表して 清水 修二



「復興」のあり方を問う

平成25年9月5日
山形大学

3大学合同「不思議で楽しい科学・理科体験教室」を開催します

東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター（CIC）にオフィスを持つ、山形大学、秋田大学、高知工科大学が合同で、地元の子どもたちに、理科・科学への興味を深めてもらうことを目的として、科学・理科体験教室を企画しました。

■背景

東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター（CIC）にオフィスを持つ大学の中で、この度、山形、秋田、高知工科大学の3大学が共同で、広報イベントを企画しました。

科学や理科により親しみと関心を寄せてもらいながら、CICや各大学の取組を知ってもらうことを目的として、*芝浦運河まつりの開催に合わせて、子どもたちが、簡単に楽しく実際に手で触れたり、物を作成することのできる科学・理科体験教室を開催します。体験教室の他に、展示スペース等も設け、各大学の取組を紹介します。

■概要

山形大学では、「人工イクラを作っちゃおう」「絵が消える？不思議なカード」の2つのコーナーを設け、主に学生スタッフが体験教室での指導を行います。

日時：平成25年9月29日（日）10：00－16：30

会場：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 5階
（東京都港区芝浦3-3-6）

対象：小学生以上（事前登録制）

※参加費無料

*芝浦運河まつり…毎年この時期に行われている、地元商店会が主催する地域に密着したイベント。新芝橋、芝浦運河遊歩道等を会場として、フリーマーケット、模擬店、運河クルーズ等様々な企画がある。

（お問合せ先）

山形大学総務部 広報室

Tel：023-628-4008

Fax：023-628-4013

E-mail：koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

不思議で楽しい!

科学・理科

体験教室

『国際資源学部』
来春新設予定
(※設置認可申請中)

秋田大学

アンモナイトの観察から
1億5000万年前の世界を体験!
化石標本を削ってアンモナイトの断面を観察します。 所要時間: 15~30分

アンモナイトは、お持ち帰りいただけます。

※小学校低学年の方は、保護者同伴でお越しください。



高知工科大学

目でなく、脳が「見る」?

私たちは、目に写った物そのものではなく、脳で処理した結果を「見て」いるよ!



どっちが本物?



錯覚をおこす画像や映像を見て、不思議な体験をしてみよう!

山形大学

山形大学と不思議体験!

●人工イクラを作っちゃおう
きれいなカラフルイクラを作ります。

注意: 人工イクラは食べられません!

●絵が消える? 不思議なカード
光の反射と屈折の不思議。

大学生と楽しく実験! 作ったものは、お持ち帰りいただけます。

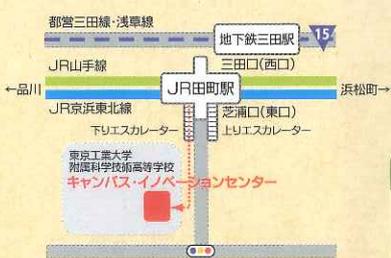
所要時間: 5分



科学や理科への興味、関心を高めてもらうために、3大学が東京に集結して、体験教室を開催します。どんな不思議に出会えるか、お楽しみに!!

2013年
9月29日 日
10:00~16:30

会場 ● 東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 5階
東京都港区芝浦3-3-6



対象 ● 小学生以上
参加費 ● 無料 事前申込み制
※定員に達しない場合は、当日申込も可能です。
主催 ● 山形大学、秋田大学、高知工科大学
締切 ● 9月20日(金)

お問い合わせ先
山形大学東京サテライト TEL 03-5440-9071
秋田大学東京サテライト TEL 03-5440-9104
高知工科大学東京サテライト TEL 03-5440-9057

※一回に体験できる人数に限りがありますので、お待ちいただく場合があります。

参加申込書

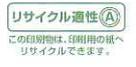
ご記入の上、右記 FAX またはメールでお申し込みください。

山形大学東京サテライト宛

FAX : 03-5440-9071
E-mail : tokyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ふりがな	学年	年生 (年齢)	歳)
名前	希望時間帯	午前	午後
住所	電話		
	E-mail		

※参加申込書の個人情報は、本イベントの手続きにのみ利用させていただきます。 ※必ず保護者の同意を得て申し込んでください。



平成25年9月5日
山形大学

1. 有機エレクトロニクスイノベーションセンター開所記念式典・記念講演会について

山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターは、平成25年4月に有機エレクトロニクス分野における先端技術の実証研究拠点として開所しました。大学・企業・公的機関が一つ屋根の下で有効に連携し、同分野の基礎的・学術的成果を応用・実証に繋げる技術開発、実用化・産業化を推進するとともに、それら実用化技術の高度化・複雑化に対応できる人材を育成することを目指します。開所を記念して下記の日程で、開所記念式典・講演会等を開催します。

◆日時：平成25年9月13日（金）

11：00～テープカット・内覧会

【有機エレクトロニクスイノベーションセンター】

13：00～開所記念式典 【伝国の杜 置賜文化ホール】

13：45～記念講演会 【伝国の杜 置賜文化ホール】

17：30～記念祝賀懇親会 【上杉城史苑】

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

2. 人文学部公開講座「東日本大震災からの復興」の開催

東日本大震災により、東日本の広範囲において地域と社会環境が破壊されました。今後、これら地域と社会環境を持続可能なものとして再構築していく必要があります。それを行う主体でもある私達には、一体、何ができるのかをこの講座で考えていきます。

◆日時：9月24日、10月1日、8日、22日、29日 火曜日 計5回

18：30～20：10まで

◆場所：山形大学 人文学部1階 103教室

◆受講料：2,000円(ただし、大学生・高校生は無料)

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

3. 理学部公開講座「ノーベル賞の科学—多様な細胞の形と働き—」の開催

2012年、京都大学の山中伸弥教授が人口多能性幹細胞（iPS細胞）の研究でノーベル賞を受賞され、様々な器官、組織の細胞に分化できるiPS細胞の研究によって、新たに細胞の様々な性質が明らかになり、同時に新しい再生医療技術や医薬品の開発への道が開けました。

本講座では、iPS細胞研究のノーベル賞受賞にちなんで、「細胞」をキーワードに、様々な生物の、多様な細胞の形や働きについて、最新の研究成果を紹介します。

同時に理学部の研究室公開も行いますので、本講座の参加と併せて是非ご覧ください。

◆日時：10月19日（土）・20日（日）

13時00分～16時20分 ※八峰祭と同時開催

◆場所：山形大学 理学部先端化学実験棟4階S401大講義室

- ◆対 象：一般の方（高校生以上）80名
- ◆受講料：一般1,000円、高校生500円

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

※ これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので、開催がせまっているイベント

○やまがた夜話(9月)

9月は、『もう一つの山形の顔 ～山形レトロ館の歩み～』をテーマに4回開催します。

- ◆日 時： ※全日、18:30～19:30まで
- 9月 4日(水) 小林 和彦氏 (山形歴史たてもの研究会)
- 11日(水) 酒井 信一郎氏 (上山まちづくり塾)
- 18日(水) 小林 和彦氏 (山形歴史たてもの研究会)
- 25日(水) 小林 和彦氏 (山形歴史たてもの研究会)
- ◆場 所：ゆうキャンパス・ステーション(山形市：山形むらきさわビル1階)
- ◆対 象：高校生・学生・一般市民 定員50名(参加費は無料)

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

○「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」講演会—国際法と人権—

山形大学で実施している、「山形大学安達峰一郎研究プロジェクト」において、安達博士の業績を皆様によりよく理解していただくために、学生・一般市民を対象に、「国際法と人権」をテーマに講演会を開催します。

- ◆日 時：9月6日(金) 14:00～16:30
- ◆講 演：①「アウシュヴィッツの体験と人権の擁護」(英語、通訳付)
トーマス・バーゲンソール 元国際司法裁判所判事
- ②「人権と国際司法裁判所の役割」
小和田 恆 国際司法裁判所判事(元所長)
- ◆場 所：山形大学 小白川キャンパス 基盤教育2号館 221教室
- ◆対 象：学生・一般市民(参加無料)

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

○第6回山形大学高校生朗読コンクール／群読劇

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯(ともしび)に」の事業として、第6回山形大学高校生朗読コンクールと群読劇「グスコブドリの伝記」を開催します。

- ◆日 時：9月8日(日) 13時30分～17時ごろ
- 第一部：山形大学高校生朗読コンクール
- 第二部：群読劇「グスコブドリの伝記」
- ◆場 所：シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘)

〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター 開所記念式典・記念講演会

期日 平成25年**9月13日(金)**

会場 有機エレクトロニクスイノベーションセンター
<http://inoel.yz.yamagata-u.ac.jp>
米沢市アルカディア1丁目808番48 TEL0238-29-0566

参加費 **無料** ※記念祝賀懇親会は有料となります

伝国の杜 置賜文化ホール
米沢市丸の内1丁目2-1 TEL0238-26-8000
上杉城史苑
米沢市丸の内1丁目1-22 TEL0238-23-0700

11:00～ テープカット・内覧会

【会場：有機エレクトロニクスイノベーションセンター】

13:00～ 開所記念式典

【会場：伝国の杜 置賜文化ホール】

13:00～13:05 挨拶 山形大学 学長 結城 章夫

13:05～13:10 式辞 山形大学工学部長 飯塚 博

13:10～13:40 来賓祝辞

経済産業省 産業技術環境局 審議官 安永 裕幸 氏
文部科学省 (未定)
衆議院議員 近藤 洋介 氏
山形県知事 吉村美栄子 氏
米沢市長 安部三十郎 氏

13:45～ 記念講演会

【会場：伝国の杜 置賜文化ホール】

13:45～13:50 来賓祝辞

科学技術振興機構 理事 小原 満穂 氏

13:50～14:00 有機エレクトロニクスイノベーションセンター紹介

センター長 大場 好弘

14:00～15:00 基調講演

「有機ELの光る国・米沢」

産業技術総合研究所 理事長 中鉢 良治 氏

15:00～15:15 休憩

15:15～17:15 講演

～国内の有機エレクトロニクス・
オープンイノベーション(実用化開発)拠点から～

産業技術総合研究所
フレキシブルエレクトロニクス研究センター
副センター長 長谷川達生 氏

九州大学
最先端有機光エレクトロニクス研究センター
特任教授 宮崎 浩 氏

山形県産業技術振興機構
産学官連携有機エレクトロニクス
事業化推進センター ゼネラルマネジャー 村上 賢一 氏

山形大学
有機エレクトロニクスイノベーションセンター
卓越研究教授 城戸 淳二

閉会挨拶

山形大学 理事・副学長 小山 清人

17:30～ 記念祝賀懇親会

参加費：3,000円 【会場：上杉城史苑】

お問い合わせ先

山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター事務室
TEL/0238-29-0566 E-mail/kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

Web申込みURL

<http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/info/form130913/form-1.php>

携帯からの申込み
はこちら！



- 募集人員** ◆ 一般市民・大学生・高校生 30名
- 募集期間** ◆ 平成25年8月26日(月)～9月20日(金)
- 受講料** ◆ 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** ◆ 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** ◆ 〒990-8560
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL:023-628-4203
E-mail:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** ◆ 山形大学人文学部1階 103教室
大学正門を入って正面の建物です。
受付は人文学部正面玄関にて行います。
- その他** ◆ 【公共交通機関ご利用のお願い】
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。



この講座はゆとり都カレッジに参加しています。

平成25年度山形大学公開講座〔人文学部〕

平成25年度 山形大学公開講座〔人文学部〕

東日本大震災からの復興



9/24 (火) 東日本大震災の政治的インパクト
～公共政策学の視点から～
人文学部 講師 川村 一義

10/1 (火) 震災復興をめぐる問題
～民法学の視点から～
人文学部 准教授 小笠原奈菜

10/8 (火) 防災法の常識と非常識
東北大学 名誉教授 生田 長人

10/22 (火) 地方自治体と復興計画
人文学部 准教授 和泉田保一

10/29 (火) 「人間の復興」から新たな地域の創生へ
人文学部 教授 下平 裕之

日時:平成25年9月24日(火)～10月29日(火)
午後6時30分～8時10分 [火曜日 計5回]

場所:山形大学人文学部1階 103教室
対象:一般市民・大学生・高校生 定員30名
受講料:一般 2,000円

大学生・高校生は無料

募集期間:平成25年8月26日(月)～9月20日(金)

■お問い合わせ先

山形大学人文学部事務室
電話:023-628-4203
E-mail:jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

東日本大震災からの復興

仙台市復興計画
仙台市復興計画
仙台市復興計画

講座の概要

東日本大震災によって、東日本の広範囲において地域と社会環境が破壊されました。今後、これら地域と社会環境を持続可能なものとして再構築していく必要があります。そして、その再構築を行う主体でもある私達には、一体、何ができるのでしょうか。

この講座では、発災から2年半が過ぎた現在において、上の問いかけにどう答えるのかについての考察の一助として、まずは、震災の引き起こした政治・社会的な影響を確認し、今後、大規模な災害が起こることによって生じうる事態に対応するための、また、そのような被害から復興するために必要な、新たな社会システムや法制度のあり方について探ります。そして、そのような観点からの地域の創成について、方向性を見出したいと思えます。

9月24日(火) 第1回目

東日本大震災の政治的インパクト～公共政策学の視点から～

人文学部 講師 川村 一 義



東日本大震災は、戦後日本の統治システムの見直しを迫るものでした。特に、意思決定の迅速性と安全性の両立をどう図るかが深刻に問われ、社会による自律的解決が求められる一方で、統治機関による強制的解決に頼る場面も多く見られました。人々の価値観が多様であることを考えれば、それもやむを得ないことですが、妥当な解決策を模索するためには、統治システムの見直しも必要でしょう。被災各地で見られた意思決定の難航も参考としながら、対立の緩和・調整における政治の役割を、改めて考えます。

<専門領域：政治過程論・公共政策学>

10月1日(火) 第2回目

震災復興をめぐる問題～民法学の視点から～

人文学部 准教授 小笠原 奈 菜



壊れたマンションを建て直すにはどうしたらいいの? ローンはどうなるの? 原発関連で被害が出たから賠償して欲しい! ボランティアをしたら損害を与えてしまった! 勝手にきたボランティアからお金を請求された! など、震災復興に関連する民法上の問題に関して、共有、消費貸借、不法行為、事務管理といった民法上の法制度と震災復興関連法令について説明し、それらを使った解決法を考えます。

<専門領域：民法学>

10月8日(火) 第3回目

防災法の常識と非常識

東北大学 名誉教授 生田 長 人



たった1軒の被災はなぜ法律上の災害に当たらない場合があるのか、国民には防災責任があるのか、おおよそ防災計画に書かれてあるとおりうまくいかないのはどこに原因があるのか、大規模災害に備えた常備対応体制がとられていないのはなぜか、災害復旧に関する規定が公共施設中心になっているのはなぜか、災害復興の仕組みは大災害の場合に限りその都度決められるのはどうしてか。防災のための法制度は、よく分からないことが多い。おかしなことは直していく必要があるが、その前に今の防災法の仕組みと考え方を知ることが大切だ。

<専門領域：都市法>

平成25年度 山形大学公開講座〔人文学部〕

10月22日(火) 第4回目

地方自治体と復興計画

人文学部 准教授 和泉田 保 一



「東日本大震災からの復興の基本方針」によれば、復興を担う行政主体は、住民に最も身近で、地域の特性を理解している市町村が基本となる、とされており、県は、広域的な施策を実施するとともに、市町村の実態を踏まえ、連絡調整や行政機能の補完等の役割を担う、とされています。

このような体制で、様々な復興施策が地方自治体により実施されていますが、本講では、それら施策の概要を一覧し、そのなかでも、最も根本的な課題と思われる市街地・居住地復興に焦点をあてて、その趣旨と原則、事例、課題について考えてゆきます。

<専門領域：行政法>

10月29日(火) 第5回目

「人間の復興」から新たな地域の創生へ

人文学部 教授 下 平 裕 之



震災からの復興に関し、従来の産業基盤優先型の復興計画は被災地の復興に必ずしも結びついていないという批判が生じ、ここから災害復興の方向を、産業基盤優先型から生活基盤優先型へと転換させるべきという主張がなされています。この主張を理解するキーワードとして、近年福田徳三(1874-1930)が唱えた「人間の復興」という言葉が注目されています。

この講義では福田徳三の「人間の復興」論が再評価され現代の災害復興論に生かされていることを示すとともに、「人間の復興」論は被災地の復興のみならず、新たな地域社会創生へのヒントを与えてくれることも明らかにします。

<専門領域：経済学史>

02		払 込 取 扱 票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号						金額	
0 2 2 6 0 7						9 2 4 7 8	
加入者名						料金	
国立大学法人山形大学						備考	
<p>「東日本大震災からの復興」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報利用について 提出いただいた書類の個人情報、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承認する □承認しない (いずれかをチェック願います)</p>							
おとこ (郵便番号)						日 附 印	
おなまえ						料 金	
(電話番号)						備 考	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第982号)						これより下部には何も記入しないでください。	

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでください。記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証							
口座番号						通常払込 料金加入 者負担	
0 2 2 6 0 7						9 2 4 7 8	
加入者名						金額	
国立大学法人山形大学						2 0 0 0	
おなまえ						日 附 印	
ご依頼人						料 金	
日 附 印						備 考	

対象

一般の方(高校生以上) 80名程度

※事前申し込みが必要です。詳しくは、「お申し込み方法」欄をご覧ください。

受講料

一般：1,000円 高校生：500円

※ただし、1日のみ受講される場合は、半額になります。

※受講料は当日受付時にお支払いください。

会場

山形大学理学部(小白川キャンパス/山形市)
先端科学実験棟4階S401大講義室

アクセス

山形駅前(4番のりば)「県庁前待合所」行き乗車
「南高前・山大入口」で下車、徒歩7分。



お申し込み方法

はがき、Eメール、FAXで、1.お名前(ふりがな) 2.性別
3.年齢 4.郵便番号 5.ご住所 6.お電話番号・FAX番号
7.ご職業または在学学校名・
学年 8.受講日を、下記お申し込み
先までお知らせください。

受講者の方には、随時、受講証を
お送りいたします。

お申し込みが切

2013年
10月9日(水)

お申し込み・お問い合わせ先

山形大学理学部事務室 公開講座担当係

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL: 023-628-4505 / FAX: 023-628-4510

E-mail: koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

【受付時間】9:00~17:00(土曜・日曜・祝日は除く)

【お願い】

公開講座は、山形大学大学祭「やつみねさい八峰祭」と同日開催と
なります。そのため、講座当日は小白川キャンパス
への車両の入構は一切できませんので、公共交通機関
をご利用くださいますようお願いいたします。

FAXお申し込み用紙

必要事項をご記入の上、山形大学理学部事務室 公開講座担当係まで
お申し込みください。この面をそのままFAXしてください。

FAX: 023-628-4510

お名前(ふりがな)	性別 男・女	年齢 歳
ご住所 〒	ご職業・学校名(学年)	
電話番号	受講日(○をつけてください)	
FAX	両日・19日(土)・20日(日)	

※お知らせいただいた個人情報は、今回の公開講座の事務手続き以外には使用いたしません。



SCITA(サイタ)は、山形大学理学部が、い
づも地域の未来のための科学(Science
for Tomorrow in our Area)を考え、地
域に貢献できる存在になりたいという願い
をこめて、作った愛称・ロゴです。



2013年度 山形大学理学部公開講座

SCIENCE OF NOBEL PRIZE

ノーベル賞の科学
—多様な細胞の形と働き—

公開講座

第1日目:10月19日(土)

第2日目:10月20日(日)

山形大学大学祭
やつみねさい
「八峰祭」同時開催

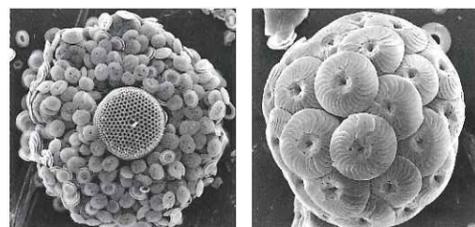
SCIENCE OF NOBEL PRIZE

ノーベル賞の科学 —多様な細胞の形と働き—

2012年、京都大学の山中伸弥教授が人口多能性幹細胞(iPS細胞)の研究でノーベル賞を受賞されました。様々な器官、組織の細胞に分化できるiPS細胞の研究によって、新たに細胞の様々な性質が明らかになり、同時に新しい再生医療技術や医薬品の開発への道が開けました。

約38億年前に地球上にはじめて誕生したとされる単細胞の生物は、その後の地球環境の変化に適応しながら、様々な多細胞生物へと進化し、現在見られるような多種多様な生物になりました。この38億年の間に、生物の細胞はその働きに応じて、様々な形に分化してきました。これらの多様な細胞には、まだ解明されていないたくさんの謎があります。

そこで、2013年度理学部公開講座では、iPS細胞研究のノーベル賞受賞にちなんで、「細胞」をキーワードに、様々な生物の、多様な細胞の形や働きについて、最新の研究成果を紹介します。皆様「不思議な小宇宙・細胞の世界」を十分堪能してください。



表紙の写真 / 幾何学的な形の細胞が整然と並ぶ円石藻
電子顕微鏡写真提供：理学部生物学科 岩滝光儀准教授

プログラム

第1日目 10月19日(土)

13:00~13:10	開講式
13:10~14:40	講演① 細胞を構成する 分子の秩序と振る舞い 奥野貴士准教授
14:40~14:50	休憩
14:50~16:20	研究施設見学
16:20	解散

第2日目 10月20日(日)

13:00~14:30	講演② 植物プランクトンの 殻の多様性を見てみよう!! ジョルダン・リチャード教授
14:30~14:40	休憩
14:40~16:10	講演③ 精子のさまざまな かたちとその運動 —水中から陸上まで、 受精の成功のために— 渡邊明彦教授
16:10~16:20	閉講式
16:20	解散

第1日目 10月19日(土) 講演

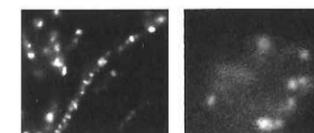
細胞を構成する 分子の秩序と振る舞い

■ 講師：物質生命化学科准教授 奥野貴士

1台の車の部品数は、2~3万個と言われています。では、1つの細胞を構成する分子(部品)の数はどの程度だと思いますか？ 細胞は機械のように、多数の分子(部品)が秩序を保ち、協同的に振る舞う事がわかってきました。例えば、細胞内にはクルクル回るモーターが機能しています。また、不要になった分子は荷札を付けられ優先的に分解されます。本講座では、ノーベル賞の受賞対象となった分子を例にあげ、細胞内の分子の秩序とその振る舞いを紹介します。また、私の研究分野におけるiPS細胞の可能性についても紹介します。



モデル生物:大腸菌



大腸菌の細胞内で並ぶ分子をGFPを用いて観察
ヒト細胞膜中の1つの分子の振る舞いを顕微鏡観察



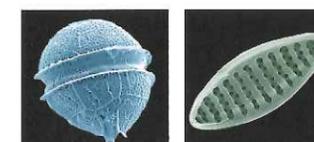
奥野貴士(おくのたかし) 三重県出身。専門分野は細胞分子システム化学です。特に細胞膜における分子システムに興味を持ち、社会に役立つ研究を心がけています。厚手のガラスと出来る限り濃いコーヒーが好きです。気軽に研究室にいらしてください。

第2日目 10月20日(日) 講演

植物プランクトンの 殻の多様性を見てみよう!!

■ 講師：地球環境学科教授 ジョルダン・リチャード

植物プランクトンの一部は殻で細胞が覆われており、それぞれの種で殻の形態が違うため、観察することで分類ができます。殻は形態だけでなく組成も異なり、珪酸質(珪藻など)、石灰質(円石藻)、セルロース(緑藻)などが知られています。これらの殻は細胞の中で作られますが、役割はまだはっきりしておらず、光の反射や吸収、細胞の保護、沈降のコントロールなどが考えられています。細胞が分解される時、これらの殻は沈殿して堆積物として保存されます。その後、岩となった堆積物は種類によって珪藻岩や石灰岩などと呼ばれており、含まれる微化石を調べることで昔の環境を推定することができます。



植物プランクトンの例



ジョルダン・リチャード 英国・グロスター市出身。専門は珊瑚礁などの熱帯海域と極地海域の植物プランクトン。堆積物中の微化石を比較することで、微細藻類の形態、分類、古海洋環境などを研究しています。趣味は硬式テニスと家系の研究です。

精子のさまざまなかたちとその運動 —水中から陸上まで、受精の成功のために—

■ 講師：生物学科教授 渡邊明彦

iPS細胞は一度分化した細胞を脱分化させたもので、体を構成する全ての種類の細胞に分化させることができます。このような多分化能は本来、次の世代をつくるための細胞である生殖細胞の特徴で、その意味で、生殖細胞は究極の未分化細胞ととらえられることがあります。しかし実際は、多分化能をもちながらも、受精やその後の発生のために高度に特殊化された一面をもっています。特に精子は、長い進化の時間の中で、種によって多様な特徴を獲得した細胞で、水中や陸上のさまざまな環境に適応し、受精を成功させることができます。本講演では、この精子をモデルとしてとりあげて、未分化な細胞がどのように特殊化できるのか、細胞のふしぎな能力の一端を紹介します。



モリアオガエルの産卵



渡邊明彦(わたなべあきひこ) 千葉県出身。専門分野は発生生物学で、脊椎動物の精子形成と受精のメカニズムを研究しています。山形の美味しい食べ物と日本酒が日々の楽しみです。

やまがた夜話

テーマ

『もう一つの山形の顔 ～山形レトロ館の歩み～』

9月4日(水) 18:30～19:30

「今も息づくレトロ建築」

小林 和彦 氏 (山形歴史たてもの研究会)

9月11日(水) 18:30～19:30

「上山の歴史的建造物と現在」

酒井 信一郎 氏 (上山まちづくり塾)

9月18日(水) 18:30～19:30

「失われし山形のレトロ建築と、街角のにぎわい」

小林 和彦 氏 (山形歴史たてもの研究会)

9月25日(水) 18:30～19:30

「建物と市民の姿 -旧西村写真館の写真資料より-」

小林 和彦 氏 (山形歴史たてもの研究会)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらさきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民
定員: 50名

入場無料

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax, 郵送、メール等でお
申し込みください。



主催

大学コンソーシアムやまがた
山形市

後援

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階
TEL: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820
E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学コンソーシアムやまがた



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。
	<input type="checkbox"/> 平成25年 9月 4日(水) 講師: 小林 和彦 氏
	<input type="checkbox"/> 平成25年 9月11日(水) 講師: 酒井 信一郎 氏
	<input type="checkbox"/> 平成25年 9月18日(水) 講師: 小林 和彦 氏
<input type="checkbox"/> 平成25年 9月25日(水) 講師: 小林 和彦 氏	
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学「安達峰一郎」研究プロジェクト講演会

国際法と人権

「アウシュヴィッツの体験と
人権の擁護」(英語・通訳付)

トーマス・バーゲンソール 元国際司法裁判所判事

「人権と国際司法裁判所の役割」

小和田 恆 国際司法裁判所判事(元所長)

2013年

9月6日(金)

14:00~16:30

安達
峰一郎

山形大学 小白川キャンパス
基盤教育2号館 221教室

[対象] 学生・一般市民

入場無料

申込方法 TEL・FAX・E-mailのいずれかでお申込み下さい。

問合せ・申込先

山形大学 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL: 023-628-4006 FAX: 023-628-4013 E-mail: somsomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催: 山形大学 総務部

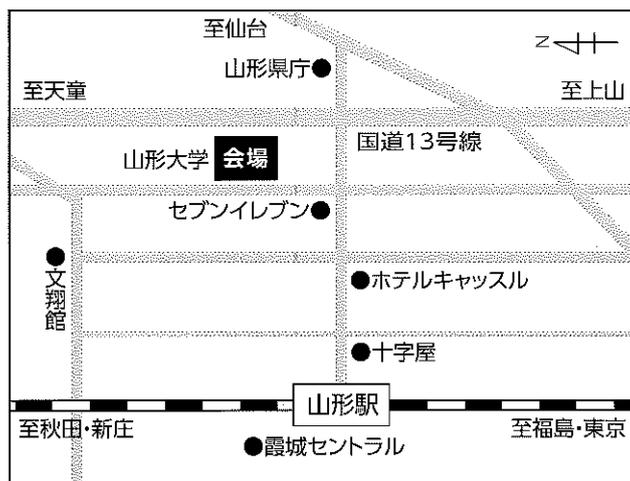
山形大学「安達峰一郎」研究プロジェクト講演会 〈参加申込書〉

お申込みは、8月16日(金)頃までにE-mail又はFAXをお願いします。
なお、E-mailの場合は、下記の全項目を入力の上、送信願います。

FAX 023-628-4013 **E-mail** somsomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

氏名	ふりがな	年齢	
住所 (所属)	連絡先	電話	
		メール	
氏名	ふりがな	年齢	
住所 (所属)	連絡先	電話	
		メール	
氏名	ふりがな	年齢	
住所 (所属)	連絡先	電話	
		メール	
氏名	ふりがな	年齢	
住所 (所属)	連絡先	電話	
		メール	
氏名	ふりがな	年齢	
住所 (所属)	連絡先	電話	
		メール	

※個人情報本事業以外には使用しません。



会場

山形大学 小白川キャンパス 基盤教育2号館 221教室

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12
TEL : 023-628-4006 FAX : 023-628-4013
E-mail : somsomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「銀河鉄道の夜」/「グスコープドリの伝記」

【タイムスケジュール】

- 13:30 第一部 高校生朗読コンクール
- 15:00 ごろ 第二部 群読劇「グスコープドリの伝記」
- 16:30 ごろ 第三部 コンクール結果発表・表彰式

【朗読コンクール・朗読劇について】

山形大学高校生朗読コンクールは東北出身の作家・東北を描いた作品を課題として取り上げ、東北を描いた優れた文学的文章に触れることで、東北の未来を考えていこうとする試みです。

予選を通過した東北の高校生たちが、岩手県出身の作家、宮沢賢治による童話の代表作の一つである『銀河鉄道の夜』をリレーで朗読します。

また同じく宮沢賢治作『グスコープドリの伝記』の群読劇では、演出は酒田市出身の佐藤正文さん、出演者として磯部勉さん・益岡徹さんを招き、山形の子どもたち、一般市民の皆さま、山形大学学生およそ40名とともに舞台を作り上げます。



現在、上演に向けて
一生懸命練習しています。

【出演者プロフィール】

磯部勉 (いそべ・つとむ)

東京都出身。1972年俳優座へ入団。89年の退団までシェイクスピア作品で主役を務める他、清水邦夫作品などの外部公演にも多数出演。

NHK大河ドラマや「水戸黄門」などのTVドラマの出演、ハリソン・フォード、メル・ギブソン、チュウ・ユンファの吹替え、アニメ「ヨルムンガンド」「マルドゥック・スクランブル」の吹替えなど幅広く活躍している。

益岡徹 (ますおか・とおる)

俳優・ナレーター。1956年生まれ。早稲田大学商学部卒業と同時に、仲代達矢氏主宰の無名塾に入塾。映画・舞台・TVドラマなど幅広い分野で活躍をしている。情感のあるナレーションにも定評があり、ドキュメンタリー番組やラジオドラマ、広告の作品で日本民間放送連盟賞などを受賞。映画「釣りバカ日誌」「聯合艦隊司令長官 山本五十六」「宇宙兄弟」「臨場」、テレビ大河ドラマ「飛ぶが如く」(NHK)、朝の連続テレビ小説「ウェルかめ」(NHK)、「京都地検の女」(テレビ朝日)、「レディ・ジョーカー」(WOWOW)。舞台「炎の人」(ホリプロ)、「負傷者16人」(新国立劇場)、「耳なし芳一」(神奈川芸術劇場)など出演作多数。「世界わが心の旅」(NHK)、「グレートジャーニー」(CX)等のナレーションを担当。

【演出・出演】



佐藤 正文 (さとう・まさふみ)

俳優・演技トレーナー。日本大学芸術学部演劇科非常勤講師(演技実習担当)。酒田市生まれ。酒田東高等学校、桐朋学園大学演劇専攻科卒業。劇団俳優座を経て安部公房スタジオ創立に参加。のちフリー。1979年『仔象は死んだ』に出演、米国5都市を巡演。俳優座劇場プロデューサー、無名塾、地人会などの公演に多数出演。1996年コロムビア大学で開催された安部公房シンポジウムにおいて、演技術・安部公房システムを紹介。1997年シンポジウム「安部公房『演劇の仕事』及びワークショップ『安部システム』を旧メンバーとともに主催。私塾A.T.ラボ(1985年創立)を主宰。2004年ギィ・フォウシイ演劇コンクールに於いて、演出した『ストレス解消センター行き』が最優秀賞を、2006年には『救急車』が優秀賞を、2013年には『ストレス解消センター行き』で再び最優秀賞を受賞。スターダスト・プロモーション、avex等の芸能プロダクションで、演技レッスン担当、多数のスタータレントを育てる。名古屋など地方都市でのワークショップを精力的に行っている。

【会場案内】

会場：シベールアリーナ (山形市蔵王松ヶ丘 2-1-3)

電話番号：023-689-1166

webサイト：<http://www.gen.or.jp/access/>

【アクセス】

お車の場合：山形自動車道～山形蔵王 I.C. から国道 13 号線を米沢方面へ約 30 分

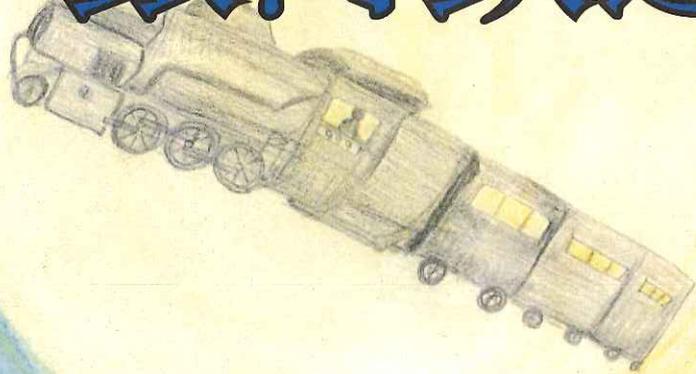
東北中央自動車道～山形上山 I.C. から国道 13 号線を山形方面へ約 3 分

徒歩の場合：JR 蔵王駅より徒歩 20 分



第6回山形大学高校生朗読コンクール

銀河鉄道の夜



山形大学特別プロジェクト
いま、言葉を東北の灯に

群読劇

グスコーブドリの伝記



日時:平成25年9月8日(日)

13:00開場 13:30開演(終演17:00ごろ)

会場:シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘二丁目1番3号)

入場方法:一般市民200名を無料で招待します。ただし入場券が必要です。

※入場券申し込み方法:往復ハガキに〈代表者氏名〉〈郵便番号-住所〉〈電話番号〉〈入場希望者氏名(代表者含め3名まで)〉を記入しお申し込みください。後日返信用ハガキに入場券を印刷してお送りします。

※先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。

受付開始:平成25年8月1日(水)到着分より

主催:国立大学法人 山形大学

共催:公益財団法人 弦地域文化支援財団

申込・お問い合わせ先:山形大学渉外部渉外課

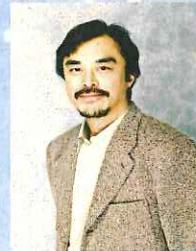
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL:023-628-4016

※電話によるお問い合わせは平日9:00~17:00にお願いします。

※個人情報については、入場券発送のみに利用いたします。

群読劇出演者



益岡 徹



磯部 勉

群読隊

山形子どもたち・一般市民・
山形大学生約40名